



日造協ニュース

2017.7月 通巻 第520号

Japan Landscape Contractors Association NEWS

発行：一般社団法人日本造園建設業協会 編集：広報活動部会 <http://www.jalc.or.jp>
 〒113-0033 東京都文京区本郷3-15-2 本郷二村ビル4階 TEL:03-5684-0011 FAX:03-5684-0012



通常総会の様子

日造協は6月23日(金)、東京都千代田区隼町のホテルグランドアーク半蔵門で、平成29年度通常総会を開催した。総会では議事に先立ち、各種表彰(2面)を実施。藤巻会長から47名の方々に表彰状の授与を行った。議事では、「平成28年度決算報告」「役員の補欠選任」の2議案を承認。続いて、報告事項等を報告の後「重点活動2017決議」を全会一致で採択した(2面)。総会後には講演会(2面)、意見交換会を開催。多数のご来賓の方々をお迎えし、意見交換会は盛会裏に終了となった。

総会は冒頭、藤巻司郎会長があいさつ(別掲)の後、町田誠国土交通省公園緑地・景観課長からあいさつをいただき、議事に先立ち、造園建設功労賞、業績表彰、勤続精勤表彰、感謝状として、47名の方々を表彰、藤巻会長より表彰状と記念品の授与を行った。

議事では、第1号議案「平成28年度決算報告について」は、事務局が報告を行い、北田功監事の監査報告の後、承認。第2号議案「役員の補欠選任について」は、有木久和理事の退任に伴い、伊澤透(一財)建設業振興基金専務理事を新任理事に選任した。

総会ではそのほか、報告事項として、(1)平成28年度事業報告、(2)平成29年度事業計画、(3)平成29年度収支予算について、事務局が概要を説明した。

また、各委員会からの活動報告が行われ、技術委員会からは卯之原昇委員長が発表。技術・技能部会における「造園の施工管理に携わる技術者を対象とした人材育成資料の作成」、安全部会における「造園用胴ベルト型安全帯の販売開始」、調査・開発部会における「公園・緑地樹木剪定ハンドブック」の編集などを紹介

し、これらの成果を活用した研修などの実施を行っていくなど、今後の活動について紹介した。

事業委員会からは、正本大委員長が、今年3月に締結した全国高等学校造園教育研究協議会と日造協との包括協定に基づく取り組みや、要望・提言活動部会の「道路緑化予算拡大に向けた提案」について紹介し、さまざまな成果が得られており、今後につなげていきたいとした。

造園領域発展戦略委員会は和田新也委員長が、戦略立案部会では、造園建設業における災害復旧活動・復興活動の資料作成を行い、担い手育成・確保推進部会では、人材育成のためのプログラムや情報収集を実施、女性活躍推進部会では、成果のまとめや今後に向けた冊子の作成をはじめ、メーカーでのヒアリングなども実施、会員拡大プロジェクト推進部会は、平成29年5月末で会員は857社となり、さらなる会員増に向けて新しい入会案内を作成し、ホームページで公開。今年度900社を目指したいとした。

その後、「重点活動2017決議」について、林輝幸総務委員長が説明し、スローガン「造園力!いのちを支える造園技術

人事異動

国土交通省都市局公園緑地・景観課関係
(6月16日付)
国土政策局離島振興課長補佐=樋口学(緑地環境室課長補佐)

緑地環境室課長補佐=森岡浩志(都市計画課都市計画調査室課長補佐)
(7月1日付)
(公財)都市緑化機構緑化技術研究所上席総括研究員=望月一彦(国際緑地環境対策官)
国際緑地環境対策官=脇坂隆一(東北国営公園事務所長)
東北国営公園事務所長=武藤徹(総合政策局公共事業企画調整課長補佐)

滋賀県土木交通部技監=辻野恒一(国営海の中道海浜公園事務所長)
国営海の中道海浜公園事務所長=森口俊宏(九州地方整備局建設部公園調整官)
九州地方整備局建設部公園調整官=平塚勇司(企画専門官)
企画専門官=柳原季明(課長補佐)
課長補佐=三井雄一郎(景観・歴史文化環境整備室課長補佐)
景観・歴史文化環境整備室課長補佐=富所弘充(復興庁統括官付参事官付参事官補佐)
復興庁統括官付参事官付参事官補佐=酒井翔平(公園緑地・景観課付)
環境省東北地方環境事務所保全統括官=辻本慎太郎(国営明石海峡公園事務所長)
国営明石海峡公園事務所長=北村智顕

法定福利費の内訳を明示した標準見積書の活用により、法定福利費の確保を図りましょう!

本号の主な内容

- 2面 【平成29年度通常総会関係】意見交換会を盛大に開催
重点活動2017決議／協会表彰47名を讃える
3面 【学会の目・眼・芽】造園学会関東支部
(公社)日本造園学会関東支部長・東海大学観光学部観光学科教授 田中伸彦
「観光」×「造園」→「楽園」脱・旅行業とデスティネーション・マネジメントの展開
女性活躍推進部会の足跡 女性活躍推進部会部会長 酒井一江
4面 【ふるさと自慢】東京都 鈴木美紅(株)柳島寿々喜園
ツリーの氏神「牛嶋神社」大祭の年 心身癒やす「撫で牛」など、ぜひ墨田へ
【緑滴】沖縄県支部 崎原一美(有)海邦造園
子ども目線のディスプレイ

一般社団法人 日本造園建設業協会 会長
藤巻司郎



緑豊かな社会の実現に向けて 全国組織としての役割を果たす

私どもを取り巻く状況は、担い手3法を契機に大きく変化してきたと感じております。

しかし、依然として将来的な事業見通しが不透明であり、加えて、若手入職者の減少等の構造的な課題への対応が急務となっており、前途は楽観できない状況にあります。

社会的な要請である「人と自然が共生する緑豊かな社会の実現」に寄与できるよう、全国組織である日造協の果たす役割を發揮し、引き続き、造園・緑化事業の拡大に向けた要望活動や担い手の育成・確保のための諸事業、技術の向上などに取組んでいかなければなりません。

このような中、日造協活動の強化に向けて、皆様のご協力を得ながら「会員拡大プロジェクト」の推進に取組んでおります。

昨年度は、新たな仲間として20社の正会員を迎えることができました。これもひとえに各総支部・支部のご努力の賜物と感謝申し上げます。引き続きのご協力の程、よろしくお願い申し上

げます。

私の会長としての在任期間は、既に7年。残りの任期も余すところあと1年となりました。

この1年は、とりわけ、次代の日造協を担う方々に円滑にバトンタッチできるよう意を注いでまいります。何分ご協力の程よろしくお願いいたします。

本日は、平成28年度決算報告及び役員補欠選任の審議、平成28年度事業報告、平成29年度事業計画等の報告、委員会・部会活動の報告後、「重点活動2017決議」をいただく予定です。

それに先立ちまして、造園建設業界の発展等に多大な功績をあげられた47名の方々を表彰させていただきます。受賞されます皆様、誠におめでとうございます。

これまでの永年にわたるご労苦とご功績に対しまして敬意を表しますとともに、今後益々のご活躍をご祈念申し上げます。

(総会挨拶より抜粋)



卯之原委員長 正本委員長 和田委員長

林委員長

田丸支部長

山崎支部長

で、持続可能な未来へ」を継続するとともに、3つの重点事項を採択した。

その後、今年9月16日から10月15日まで開催される「全国都市緑化はちょうじフェア」について、田丸敬三東京都支部長が、フェアは八王子市市制100周年を記念した事業でもあり、メイン会場は富士森公園をはじめ、市内6地域のサテライト会場、さらに市内各地の街かど花壇などもスポット会場となるな

ど、地域密着型のフェアとなっている。ぜひご来場をと呼びかけた。2019年の開催が決定したばかりの信州フェアについては、山崎信幸長野県支部長が、松本市、塩尻市、安曇野市、大町市の4市で開催することとなっており、明日、第1回目の実行委員会が行われるので、今後、皆様のご協力をいただきたいと述べた。

そのほか、新入会員紹介、賛助会員PRなどを行った。

全国造園デザインコンクール応募要項を配布中

第44回「全国造園デザインコンクール」の応募要項を関係教育機関等に配布し、ホームページに掲載しました。

今回は、A住宅庭園、B街区公園、C商業施設、D実習作品の4つの課題で、

高校生の部のほか、これまでの大学生の部と一般の部を一体化「大学・一般の部」としました。応募締切は平成30年1月17日(火)(当日消印有効)です。多数のご応募をお待ちしています。

(7月7日付)

辞職=柳野良明(大臣官房審議官(都市生活環境担当))
大臣官房審議官(都市生活環境担当)=大内秀彦(大臣官房審議官(国土政策局担当))
総合政策局官民連携政策課長=中井淳一(景観・歴史文化環境整備室長)
景観・歴史文化環境整備室長=渡瀬友博(総合政策局政策課政策調査室長)

協会表彰 47 名を讃える

平成 29 年度の協会表彰は、造園建設功労賞 11 名、業績表彰 27 名、勤続精励表彰 7 名、感謝状 2 名の合わせて 47 名の方々を表彰、藤巻会長が表彰状と記念品の授与を行った。



造園建設功労賞 (11 名)

総支部	支部	氏名	年齢	所属
北海道	北海道	田畠淳一	69	(株)翠光園
関東・甲信	茨城	小松崎茂	74	鹿島庭園(株)
〃	栃木	磯一己	67	(株)磯造園土木
〃	埼玉	渡邊進	66	(株)八廣園
北陸	富山	西田茂基	57	(株)西田幸樹園
中部	静岡	内山晴芳	66	天龍造園建設(株)
近畿	滋賀	山村眞司	66	花文造園土木(株)
〃	京都	高石正弘	52	(株)高石造園土木
四国	高知	比與森睦夫	65	(株)双葉造園
九州	熊本	吉村建介	69	(株)千乗園
沖縄	沖縄	森根清昭	55	(有)海邦造園



勤続精励表彰 (7 名)

総支部	支部	氏名	年齢	所属
東北	宮城	鈴木勝喜	61	宮十造園土木(株)
関東・甲信	神奈川	鉄本治	58	湘南造園(株)
〃	山梨	依田茂巳	53	山梨ガーデン(株)
北陸	新潟	村木芳孝	63	らう造景(株)
四国	徳島	尾田仁志	41	森田緑化(株)
九州	大分	藤川悟	56	豊秀植木(株)
〃	鹿児島	竹下一成	53	(株)光林緑化



感謝状 (2 名)

総支部	支部	氏名	所属
東北	山形	齊藤克恵	山形県支部事務局
近畿	大阪	梶原雅代	大阪府支部事務局

平成 29 年度 通常総会

講演会・意見交換会を開催

平成 29 年度通常総会後は、「都市緑地法等の法律改正の概要について」と題して、町田誠国土交通省都市局公園緑地・景観課長より、ご講演をいただいた (次号詳報)。また、午後 6 時からは意見交換会を開催。多数のご来賓の方々にもご参加いただいた。

総会後の講演は、町田誠国土交通省都市局公園緑地・景観課長から、「都市緑地法等の法律改正の概要について」と題して行われた。

町田課長は、太政官布達による公園やそれ以外の公園など、近代都市公園の始まりから、公園緑地行政 140 年の歩みと成果を様々な手法で示し、量的・質的課題があるとしながらも、今回の法改正は、地方公共団体の財政、人材が制約される中、民間主体の緑地・広場の創出や、都市公園の占用、民間事業者による公園施設の設置管理などによって、都市公園の再生・活性化を図るものであると、先進事例などを紹介。改正法は 6 月 15 日施行で、これからどんどん活用していくべき、少しでも多くの都市公園がより社会的な効用が発揮される空間となるようにと都市公園の可能性を示した。

意見交換会は、冒頭、主催者を代表して、藤巻司郎会長があいさつ。

ご来賓の足立敏之参議院議員、町田誠

国土交通省都市局公園緑地・景観課長、今村雅弘衆議院議員からご祝辞をいただいた (ご到着順)。

足立氏は、「今国会では、ちょうど、藤巻会長もいらっしゃいましたが、都市緑地法等の一部を改正する法律案が可決しました。今後、公園の管理運営がますます重要になり、その担い手である皆様がいろいろな分野でご活躍をしていただけると思っています。造園業に関わる問題も多々あるとは思いますが、公共事業予算の総量を確保することが第一と思っています。今後ともご支援ご協力を賜りたい」との旨を述べた。

町田課長は、「改正法がどのような成



藤巻 司郎 会長



足立 敏之 参議院議員

重点活動 2017 決議 造園力を發揮し、持続可能な未来めざす

総会では、造園建設業の持続的な発展と緑豊かな安全・快適で美しい持続可能な社会の実現に向け、「造園力！いのちを支える造園技術で、持続可能な未来へ」のスローガンのもと、以下の事項に会員が重点的に取り組むことを決議した。

私たちは、これまで長年にわたり培ってきた造園力をもって、震災等の様々な自然災害に対応した災害復旧活動・復興支援活動の実施や安全・安心で活力ある国土・都市・地域づくりの基盤となる豊かな緑の創出・育成に取組むとともに、地球温暖化や生物多様性などの環境問題やインバウンドの促進に果敢に取組み、次世代に誇れる活力ある日本、人と自然が共生する持続可能なしなやかな社会の形成に寄与する役割を果たさねばなりません。

ついては、平成 29 年度通常総会にあたり、造園建設業の持続的な発展と緑豊かな安全・快適で美しい活力のある社会の実現に向けて、

「造園力！いのちを支える造園技術で、持続可能な未来へ」

のスローガンのもと、私たちは、法令遵守はもとより企業倫理や社会規範に沿った事業運営、企業としての社会的責任を積極的に果たしながら、下記に掲げる事項に一致団結して重点的に取組むことを、ここに決議する。

一. 次代を担う人材の育成・確保の推進

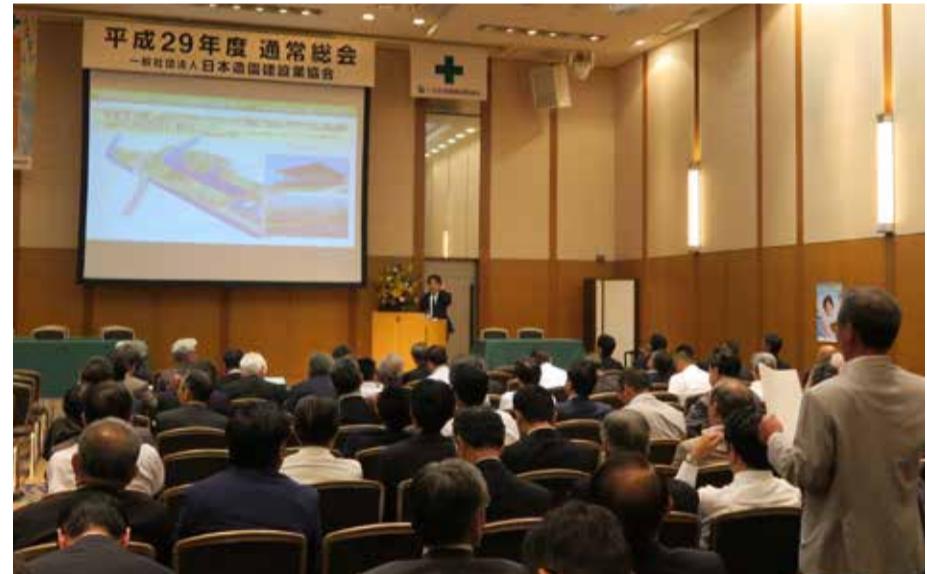
- 担い手の育成・確保：国家資格・日造協資格等の取得促進、女性の登用
- 経営者の育成：地域リーダーズ活動の支援
- 若手入職希望者へのアピール：全国造園デザインコンクール

一. 安心して働くことのできる環境整備の促進

- ダンピング受注の排除：適正な価格による受注の徹底
- 賃金水準の向上：技能労働者の労務単価の改善
- 社会保険等の加入徹底：法定福利費の内訳を明示した標準見積書の活用
- 労働災害の防止：労働安全衛生管理の徹底
- 労働環境の改善：不規則長時間労働の解消、週休 2 日制の実現

一. 造園力の発揮・拡大体制の強化

- 適切な施工実施：施工体制台帳の作成・提出等の周知
- 防災・災害対応：防災協定の締結促進
- 緑の再生等支援：東日本大震災復興事業等への支援
- 要望・提言活動：日造協資格制度の活用、造園発注の促進の要請
- 造園技術の向上：新たな課題の調査研究、造園技術情報の共有化
- 日造協組織運営：会員拡大プロジェクトの推進



町田課長による講演会での質疑応答の様子

果を出すかはこれからです。ぜひ、積極的に活用していただき、活力ある公園が全国あちこちにみられる社会にしていくて貰いたい」と述べた。

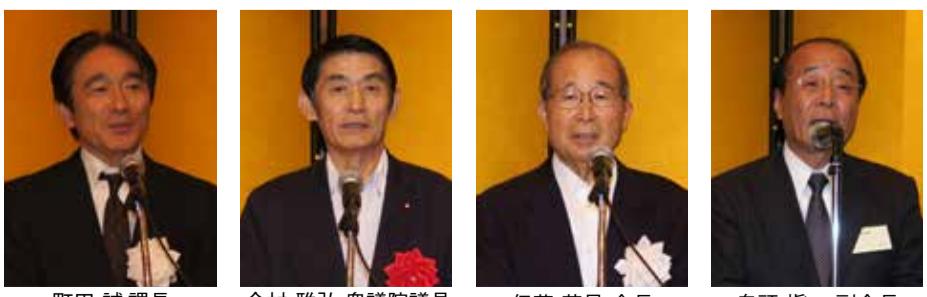
乾杯は、伊藤英昌（一財）日本造園修景協会会長が、参加者や関係者の連携を呼び掛け、乾杯を発声、意見交換の場となった。

今村氏は、「少子高齢化が進む中、家族で楽しめる公園の存在がますます求められます。また、公園に限らず道路、街路樹もあります。広く協力し、新しい時代にあった取り組みをしっかり進めてい

きたい」と述べた。

伊藤氏は、伊藤英昌（一財）日本造園修景協会会長が、参加者や関係者の連携を呼び掛け、乾杯を発声、意見交換の場となった。

閉会にあたっては、鬼頭慎一副会长が、参加者への御礼と今後のご協力をお願いし、盛況のうちに、閉会となった。



町田 誠 課長

今村 雅弘 衆議院議員

伊藤 英昌 会長

鬼頭 慎一 副会長

学会の目・眼・芽 第84回

「観光」「造園」→「楽園」脱・旅行業とデスティネーション・マネジメントの展開

(公社)日本造園学会関東支部長・東海大学観光学部観光学科教授 田中伸彦

「観光」の語源は、中国・四書五経の1つ、『易經』の「國の光を觀る もって王に賓たる利（よ）ろし」という一節に由来する。

平たく訳せば「ある地域の素晴らしいを理解すれば、王様から一目置かれ、重用される」となる。

これを造園側から解釈すれば、観光という言葉には「ランドスケープに深い見識を持つ者は、国に欠かせない貴重な人材だ」という意味が含まれていると言える。

だから、私は常日頃「観光におけるランドスケープの重要性」を関係者に説いて回っている。

しかし、反応は思ったよりも薄い。特に、観光系大学教員の反応の薄さには、些（いさ）か驚かされている。この実態が今の日本の観光学が抱える課題であり、特徴なのだろう。

国内の観光系大学は、平成以降に設置されたものが多い。そのため、教員の学位保有率は未だに低く、それを埋めるために、学問とは疎遠な暮らしかけてきた旅行業界のリタイア組が、勘や経験を頼りに突然教鞭をとるケースが多い。

彼らは元々一般サラリーマンなので、業界通ではあっても、客観理論や専門職能までは望めない。さらに言えば、「観光学」＝「旅行業界」と思っている節が垣間見える。

幸か不幸か、日本は今も昔も自然的なものは文化的魅力が詰まった観光地に恵まれてきた。旅行業界は、それらを繋ぐパッケージ商品の販売してきた。

つまり、他人がつくった魅力ある場所を見つけ、収奪的に利用・消費することで利益を得てきた。

そう考えると、日本の旅行業界に、観光の要といえる「地域の魅力を創造し管



DMF（デスティネーション・マネジメント・フレームワーク）という制度によって観光管理とランドスケープ管理との調和を行っている事例（ニュージーランド・エイベルタズマン国立公園）

理する資質（デスティネーション・マネジメント能力）が欠けているという事実は驚くに値しない。

21世紀に入り、日本は「観光立国」を宣言した。「自動車や電化製品等を製造して、海外に輸出」していたビジネスモデルが先行き不透明になったため、「魅力ある観光地を創造して、日本各地に外国人を誘客」するモデルを展開させることとなった。

目的を持ってつくられた魅力的な地域や空間のことを、日本語で「園」と



産官学民の連携で里山景観の保全管理を行っている観光まちづくりの事例（神奈川県平塚市ゆるぎ地区）

言うが、「光を觀」せるためには、楽園と言えるような「園が造」れなければお話をにならない。

国の光を深く理解し、魅力ある地域や空間をゼロから創造できるのは、旅行業界ではなく造園家であるといえよう。

日本における今後のデスティネーション・マネジメントの展開は、観光を意識した造園家が、魅力ある楽園を、この先どれだけつくれるのかに委ねられているのではないだろうか。造園家の出番である。

女性活躍推進部会の足跡

女性活躍推進部会部会長 酒井 一江

日造協の部会の中で部会員16名は最多ではないでしょうか。女3人寄ればという言葉がありますが…5倍の賑やかさです。他の部会との違いは、会社の代表者等役員は3人だけ。年齢、ポジション、学生時の専攻科目、社内での仕事、生活面では既婚、未婚、介護中、子育て中などバラエティに富んでおり、部会メンバーだけでも興味深いワーキンググループの事例になります。

活動3年目ですが、部会活動に着目していただいた総支部からはセッションの依頼や、その後は女性の組織ができつづると連絡いただき、うれしい成果を感じております。

●「女子力アップで二人三脚ワーキング」

初年度は女性雇用の実態を知るためのアンケートを実施しましたが、数値的には大コケしました。代表者解答35人、女性職員解答51人。会員企業数からすれば約5%ですから、総体としての分析には至りません。この数値にちょっと気持が萎えました。日造協の代表者たちは女子雇用に目が向いていない!!と。まあ、無理もありません。元々男社会の仕事ですからね。反面、女性の回答者はバラエティがあり、様々な問題提起は部会運営に活かすことができました。

会員企業の多くは女性職員が一人。せめて二人雇用をしてくだされば協力体制ができると考え、二人目の雇用を願って「女子力アップで二人三脚ワーキング」を作成しました。最近増えつつある農業高校の女子生徒への読本にしたいという希望もありご送付した例もあります。またしっかり読んでいただいた会員からはご指導、ご意見をいただき、部会の意見を加えてのバージョンアップ版を同封しました。新年度に女性を雇用された企業は大いに活用してください。社長や役員の方と一緒に読んでいただければ効果倍増ですよ!!

●「造園建設業の仕事入門」近日発刊!!

部会の協議テーマの一つに造園の仕事



近日発刊の書籍と、既刊の小冊子

が一般社会に理解されていないこと。特に女性の職種としての理解が低いという意見があります。そこでこれから仕事を選択する高校生、大学生に造園建設業を理解していただく小冊子を作ることにしようとしました。さて目標の小冊子は、仕事がビジュアルに表現され解りやすいものという部会の意見。『ごもっとも』なのですが、なかなか難しい! ちなみに国土交通省公園緑地課監修の「造園施工管理 技術編」はA4版約900頁、小さいフォントで埋めつくされた大冊です。小冊子になるのか?!

まず、2年目と3年目には具体的な女性の働きぶりを紹介するために取材をしました。また、高校等の造園のカリキュラムや仕事の認識を聞くために高校へヒアリングにうかがいました。部会委員と



山口県立宇部西高等学校の室内石組み練習場

⑤ 日本庭園用材料置き場



ナーサリー見学 トピアリーのベンチに集合



ナーサリー見学 質問攻め

二人三脚の行脚です。中でも2016年の全国造園デザインコンクールで国土交通大臣賞を受賞した山口県立宇部西高等学校は実技指導のための設備機器、教材の充実と先生方の情熱と技に触れることができ、大臣賞獲得を納得しました。そして、この学校でもう一度造園実務を集中的に学びたいと初心に帰るワクワク体験をしました。

ビジュアル表現については、会員企業のご協力により、多くの写真提供をいただき感謝いたします。準備ができましたので近々、印刷予定です。

小冊子の中身については会員企業のみなさんがプロとしてのご意見やお気づきがあると思います。お気づきの方は是非とも具体的な意見と資料を提供してくださることを歓迎いたします。4年目のバージョンアップに活かせる前向きなご協力をお願いします。なお、バージョンアップの視点にはイケメンの実務者紹介という意見も出ています。各総支部、支部で「わが支部のイケメン探し」へのご協力もお願いしたいと思っています。

●勉強会

「ナーサリーへ行こう！2017」

「京都の伝統技術を学ぼう！2017」

勉強会は、物見遊山ではなく、参加者と自社へ持ち帰れる知識を獲得することを目的にしたいと試行しています。本年は樹木の入手が困難であるとか、新しい品種を知らないという課題も聞こえたので、新緑の美しい6月に「ナーサリーへ行こう」を実施しました。61社のナ

サリーが集積する東京都立川市で、個性豊かな2社を見学しました。参加者は熱心な質疑応答で新たな知識と知恵を得たようです。なお61社に興味のある方は本部に資料がありますのでコピーをお渡しできます。商材は少数でも入手可能です。

10月には、庭園の維持管理や竹加工技術を学ぶために京都での部会、勉強会を予定しており、近畿総支部のご協力もあって大人数の嬉しい女子会の予感がしています。またご報告の機会をいただきご紹介をしたいと思っています。

戸田みらい基金の助成金

女性造園技能者5名確定

(一財)戸田みらい基金が、建設業での継続的な就労を希望する女性技能者に対して、保育施設への子供の受け入れに係る費用の助成を開始した。各支部を通じて募り、推薦した結果、5名が決定されました。

ふると
東京都
慢

ツリーの氏神「牛嶋神社」大祭の年
心身癒やす「撫で牛」など、ぜひ墨田へ

東京都の観光といえば、東京タワー、東京スカイツリー、浅草寺などがあげられますよね？今回は東京スカイツリーのある墨田区についてご紹介します。



隅田川花火大会

墨田区は2012年に開業した自立式電波塔の中で世界一の高さを誇る「東京スカイツリー」や年6回行われる大相撲本場所のうち、1月、5月、9月場所の計3回が開催される「両国国技館」、江戸から東京への移り変わりの歴史を学べる「江戸東京博物館」があります。

また、毎年夏に開催されている「隅田川花火大会」は隅田川の夏の風物詩として多くの人に親しまれています。

東京スカイツリーができたことで、隅田川の花火を上か

ら見下ろして鑑賞できるようになります、いつもの花火とはまた違った鑑賞ができるのも面白いですよね。

墨田区では長命寺の「桜餅」や「言問団子」、志満草餅の「草餅」、吉備子屋の「きびだんご」が有名ですが、東京スカイツリーの側には、栗を使った和菓子屋さんでお城をイメージした店舗の「森八（森八城）」があり、お腹が空いたら「味吟」というお稲荷さんとかんぴょう巻が絶品なお店があります。

施設や店頭にディスプレイがあると印象が変わるものですね。

私がよく利用する通りの会社の門には、季節ごとに着せ替えをするシーサー（沖縄県の魔除けの像）があり、見かける度にホッコリとします。

「この会社のスタッフは、楽しく勤務して会社の環境も素晴らしいだろうな」と感じます。

そこで、物づくりの趣味を活かして、私の勤務する会社でも取り入れてみようと思い、制作を開始しました。

◆
会社の前の通りには、よく保育園児が行き来します。

また、こども110番の家（地域ぐるみのボランティア）でもあるので、ディスプレイは「子どもの目線」を心がけて制作しました。

材料は、段ボールなどで、季節ごとに行事の絵を貼付け、切抜き、立体的に仕上げたり、アレンジも加えてオリジナリティを出し、ディスプレイの際には

「そんな「撫で牛」のいる牛嶋神社では毎

年9月にお祭りが開催されます。



撫で牛



牛嶋神社例大祭

9月15日は、神社建立のころに初めて

9月15日は、神社建立のころに初めて祭を行った日と言われており、5年に1度の例大祭が行われます。

例大祭では、黒牛が引く鳳輦を中心に手古舞や稚兒などが加わった古式豊かな行列が、向島から両国に広がる氏子の町内約35kmを2日間に渡って安泰繁栄祈願のために巡ります。

皆さん！ 今年の9月は例大祭なので、東京の町中を牛が鳳輦を引いて歩いている姿を見に来てみてはいかがでしょうか。

鈴木 美紅（株）柳島寿々喜園



先輩社員の意見を見参考にして完成です。

◆
すると、ディスプレイを見かけた会社訪問者やご近所の方々、会社内からも「次は何を作るの？次はひなまつりだね。」とうれしい反応の声をいただいています。

また、ディスプレイに気付いた子どもたちの声や歌声も聞こえるようになり、私の方が癒され、次の季節の制作に対してのモチベーションが上がります。

そして、出掛ける際も、今後の制作の参考になるようなディスプレイを探すという、新たな趣味が増え、これまで以上に楽しい毎日を過ごしています。

「きびだんご」の
吉備子屋お稲荷さんとかん
ぴょう巻の「森八」

ますので、時間があったら寄ってみてください。

観光スポットがたくさんある墨田区ですが、今回は牛嶋神社についてご紹介します。

牛嶋神社は、隅田川沿いにある心身の健康を祈願できる「撫で牛」や、珍しい「三輪の鳥居」がある神社です。また、東京スカイツリーの氏神様でもあります。

「撫で牛」とは自分の体の気になるところをさすり、その後に牛の像の同じ部位を撫でると病気が治るといわている風習が昔からあります。また、牛嶋神社の「撫で牛」は心の不調も癒してくれると知られています。

◆
そんな「撫で牛」のいる牛嶋神社では毎



牛嶋神社

社名 / 住所	代表者 / FAX
京葉ガーデン株	川口 龍司
千葉県市原市平蔵 322	
047-354-8854 FAX 047-354-8874	
豊四季造園土木株	松丸 貴
千葉県柏市花野井 1521	
04-7132-1235 FAX 04-7132-1245	
環境緑地株	野村 武夫
鳥取県境港市西工業団地 67-2	
0859-47-0247 FAX 0859-47-0370	
石井造園株	石井 直樹
神奈川県横浜市栄区笠間 4-11-5	
045-891-1501 FAX 045-891-2785	

日造協賛会員の紹介
剪定枝葉・刈草等にパッカー車ご利用のご提案

弊社は本社を兵庫県西宮市に構え、国内に工場6拠点、45の営業拠点、636のサービス拠点により、特装車、トレーラーの製造、販売、メンテナンスを行っています。

今回は、日造協会員様へ街路樹の剪定作業や除草作業後の枝葉、刈草の回収に効果的な塵芥車（パッカー車）をご提案させていただきます。

【塵芥車（パッカー車）の特徴】

- ・投入口が低く積込み効率が向上！
- ・強制圧縮でダンプ等より積込効率UP!
- ・後方からの積込で狭小地でも作業可能
- ・飛散なく荷台へのシート掛け不要 etc

“試乗・試用”できるキャラバン車もございますので、ダンプや軽トラック等



とぜひ比較してみて下さい。

詳細は、弊社営業よりご説明いたしますのでお気軽にお問い合わせいただけます。

お問い合わせは、極東開発工業（株）首都圏支店 特販課 担当：宮本、東京都品川区東品川3-15-10、電話：03-5781-9826 FAX：03-5781-3434、m-miyamoto@kyokuto.com、www.kyokuto.com

編集後記 7月になり30℃を超える日々が続いております。造園作業も忙しさを増すこの季節。事故や怪我、そして熱中症には十分に気を付けて、みなさん元気にこの夏を乗り越えていければと思います。

事務局の動き

【6月】

- 1(木)・佐藤国際交流賞受賞者パリーマクローリン氏講演会・シンポジウム
- 2(金)・街路樹剪定士認定委員会
- 4(日)・第33回全国都市緑化よこはまフェア閉会式
- 5(月)・登録造園基幹技能者講習（試験委員会）
- 6(火)・自由民主党特別委員会、議員連盟、合同会議・広報活動部会・女性活躍推進部会
- 7(水)・日本花普及センター理事会
- 8(木)・技能五輪、第3回造園競技委員会
- 10(土)・第28回全国「みどりの愛護」のつどい
- 12(月)・日本花普及センター理事会
- 14(火)・全国高等学校造園教育研究協議会包括協定打ち合わせ
- 15(水)・全国建設研修センター評議会
- 16(木)・技術・技能修習会
- 19(月)・中央職業能力開発協会総会
- 20(火)・日本造園修景協会評議会
- 21(水)・都市緑化機構評議会
- 23(金)・通常総会・講演会、意見交換会・地域リーダーズ勉強会～6/24
- 27(火)・公園財団平成29年度第1回評議会
- 28(水)・建設業適正取引推進機構評議会
- 29(木)・技能五輪部会

【7月】

- 4(火)・広報活動部会
- 5(水)・担い手育成・確保推進部会